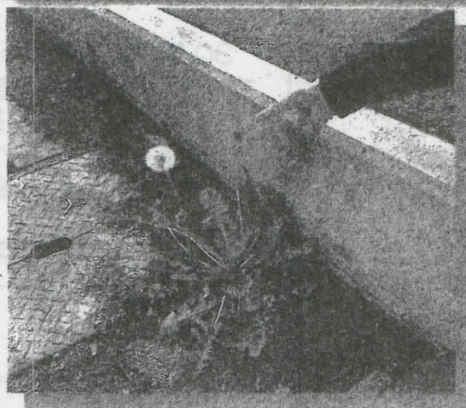


なんでライオン？ ダンデライオン！



タンポポを英語ではダンデライオンといいますよね。なぜライオンと名がつけられたのかご存知でしたか。私はずっと「黄色いタンポポの花がライオンの顔に似ているから」だと信じていました。でも、真相を科学部クラブ指導員の桐原さんに教えていただき、びっくり！

「葉っぱのぎざぎざがライオンの歯に似ている」からだそうです。ダンデライオンは「ライオンの歯」という意味だったのですね。初耳!!

早速、タンポポに会いたくなって近隣を探していると、技術室に向かうスロープ下でひっそりと咲いていました。太陽光があまり当たらない日陰に近い場所に、一輪だけ。まっすぐに茎を伸ばして綿毛を遠くに飛ばそうとしています。ただ、タンポポすべてがそうかといえば、違うようで、数メートル離れた草ぼうぼうの中に混ざって咲くタンポポもありました。

人間同様、タンポポの世界も多様化なのですね。

「どこでどう咲くかは、(他人と)比べるものじゃない!」ってこと。

・・・生き抜く知恵を、タンポポが教えてくれました。

ミャクミャク
バージョンに
してみました!
ガイ〜



生き抜く知恵と言えは・・・。

何かの本で読んだのですが、こんなクイズがあります。

A 会社が「日本一安い店」という看板を掲げたビルを建設し、商売を始めた。人気も出てけっこう客が多かった。すると、同じ商品を売る B 会社が「世界一安い店」という看板を掲げて、少し隣にビルを建設した。ここも人気が出て客が入った。それを見た C 会社が、A ビルと B ビルの間に隙間なくビルを建設し、ある看板を掲げたところ、瞬く間に客が入って、A や B の会社よりも売り上げが伸びたという。

さて、C 会社は何という看板を掲げたのだろうか？（正解は下です。）

「宇宙一安い店」と回答された方はいませんか。この答え、逆転の発想・・・というより言い方は失礼ですが悪知恵の部類かもしれませんね。でも、この柔軟な考えこそ、これから生き抜く必要な力だと思うのです。明石家さんまさんが、あるトーク番組で「世間の高いハードルを乗り越えるのは困難だ。」と悩む相手に、次のようにアドバイスされていました。

「ハードル跳べんかったら、くぐればええねん!!」

親の 名言

子どもには、(なんでも予定通りではなく)「まさか?!」の体験をしてほしいですね。連休は一人で、旅に出します!

ヤギのジョセフィーヌ ～『忘れられないに馳走』より～



30 年前に同僚だった M さんから教えてもらった作品です。当時、沖縄県立首里高校 3 年だった金城幸さんが、「文の甲子園」（『文芸春秋』1996 年 4 月号）に応募され、最優秀賞をとられた作品です。今日は前半部分を紹介します。

畑の後で知り合いの家に飲みに行った親父が、とんでもないものを連れて帰ってきた。

白い子ヤギである。安く譲るといわれたのでもらってきたのだという。

「何言ってるの、うちにこんなの持ってきてどうするのよ。」驚いて思わず大声を出してしまった。

台所から出てきた母は、私の肩ごしにヤギを見て嬉しそうな顔で言った。

「上等なヤギだね。これだったら来る正月にはつぶせるさあ。」

「た、食べるの？」私が戻ると親父は大声でからからと笑った。

「ま～さんど～（うまいぞ）。だあ、これの世話は幸がやりなさいね。」



首にひもをかけられたヤギが青い目でじっとこちらを見ている。その目をみながら私はぺたんと座り込んでしまった。私の家は農家だ。主に菊と野菜を作っている。今、ちょうど、出荷の時期で忙しいらしいが、それは私の知ったことではない。高校生は遊びと勉強で手一杯なのだ。しかし、それまで家業に無関心だった私が、ヤギの世話を押しつけられるままに始めてしまった。別に朝から晩まで働きづめの親の姿に、良心が痛んだからではない。とにかく、可愛くて可愛くて仕様がなないのだ。この子ヤギ～白い毛と青い目のジョセフィーヌが。

ジョセフィーヌの世話は早朝と夕方にする。朝は 5 時に起きて彼女のいる小屋を掃除し、乾草を敷き、水と買ってきた飼料をやる。ヤギなど見たこともないので世話の仕方など全くわからなかったのだが、母もヤギは料理の仕方しか知らず、父の指導も極めてあっさりしたものだった。

「えさは？」「草と水」「どうやって飼えばいいの？」「雨に濡らしたらだめだ。」

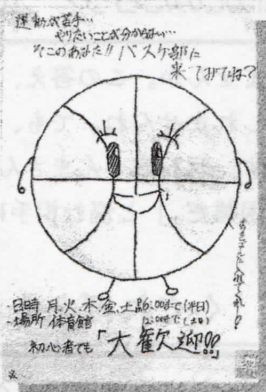
この程度の知識で、それでもちゃんと育っているのだから、生き物というのは不思議なものである。聞いた話ではヤギの世話は他の家畜より難しいらしいから、ジョセフィーヌが特別に丈夫ということかもしれない。

夕方、えさと水を替えてというと、母が様子を見にやってくる。「ヤギは元気ねえ？ヤギ、もっと食べて太りなさいよ。」「ジョセフィーヌって呼んでよ。」「なんね、その変な名前は。ヤギはやぎさあ。」

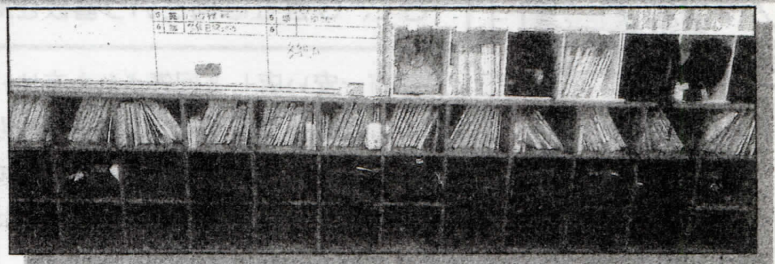
悠然と台所にひっこむ。嫌な母である。（後半に続く。）

法中でアートしようぜ!! II

何に見えるか
考えてみよう!!



部活動の勧誘
ポスターも!!



日常の何気ない景色や生徒
が作ったポスターも、アートだと考
えています。”アート”なものの見方で
学校を歩いてみてはどうでしょう。
意外な発見があると思います。

